

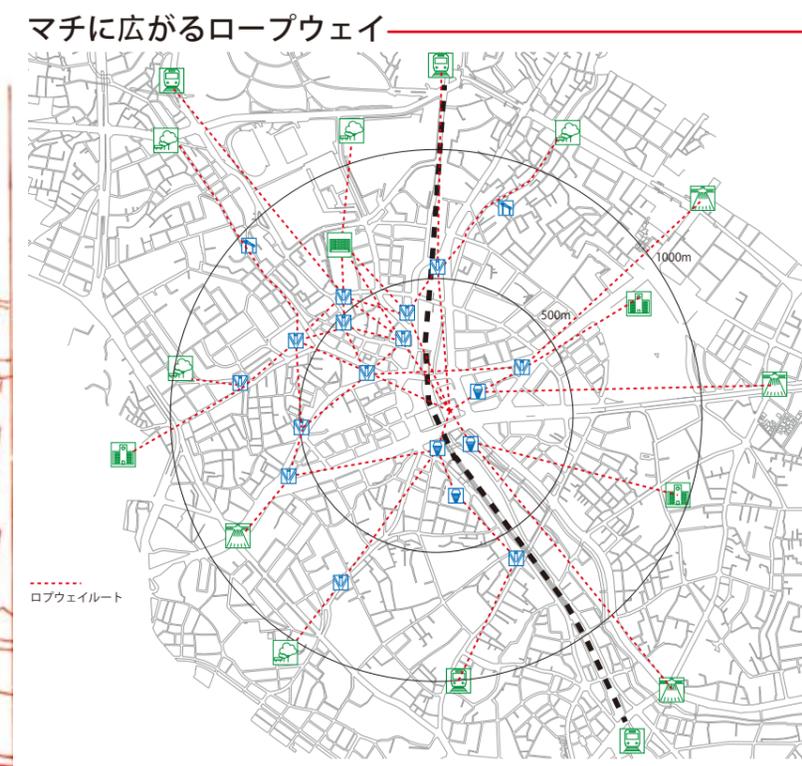
シブヤヤマ ロープウェイ



渋谷“谷”“山”にかかるロープウェイ
それは渋谷に新しい体験をもたらしてくれる。
ロープウェイは何でも運んでくれる。
一人でもみんなでも荷物でも自転車でも車でも
谷が生んだ沢山のストリートは新しい表情を見せてくれる。

看板広告は全方位に対応する。

Y字路のシリンダー建築はロープウェイの中継点として巨大化する。



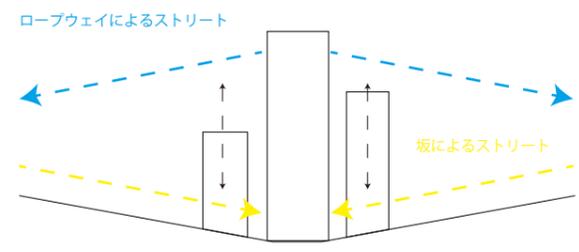
シブヤ周辺の小さな交通を整備する事によりシブヤの回遊性をさらに高める。
まず、シブヤの新しい中心となるシブヤ駅ビルをこのロープウェイの中心にした。
人の集中点をロープウェイの始点、終点にした。ロープウェイの方向を変える中継点としてシブヤの特徴であるY字路に建つシリンダー状のアイコン建築を設定した。ルートにより坂との関係は異なる。

- | | | |
|---|--|--|
| <p>■始点・終点</p> <p>駅 駅は人が集まり拡散する中心点である。</p> <p>大通り 渋谷に進入する大通りの交差点</p> <p>大学 大学の通勤、通学へ利用される</p> <p>公園 公園にとってロープウェイは新しいアトラクション</p> <p>公園 市役所等への交通、避難所としての役割</p> <p>公共施設</p> | <p>■中継点</p> <p>Y字路 Y字路にあるアイコン建築</p> <p>電柱 電柱はロープウェイの中継機的作用を果たす</p> <p>高層ビル 高層ビルはロープウェイの要所</p> <p>街灯 電柱はロープウェイの中継機的作用を果たす</p> | <p>■使い手</p> <p>歩行者 歩行者</p> <p>自転車 至る所から自転車はやってくる。</p> <p>自動車 大通りから車はやってくる</p> <p>四輪車 駅は人が集まる集中点である。</p> <p>歩行補助車</p> <p>荷物</p> |
|---|--|--|

10年後も楽しい渋谷へ

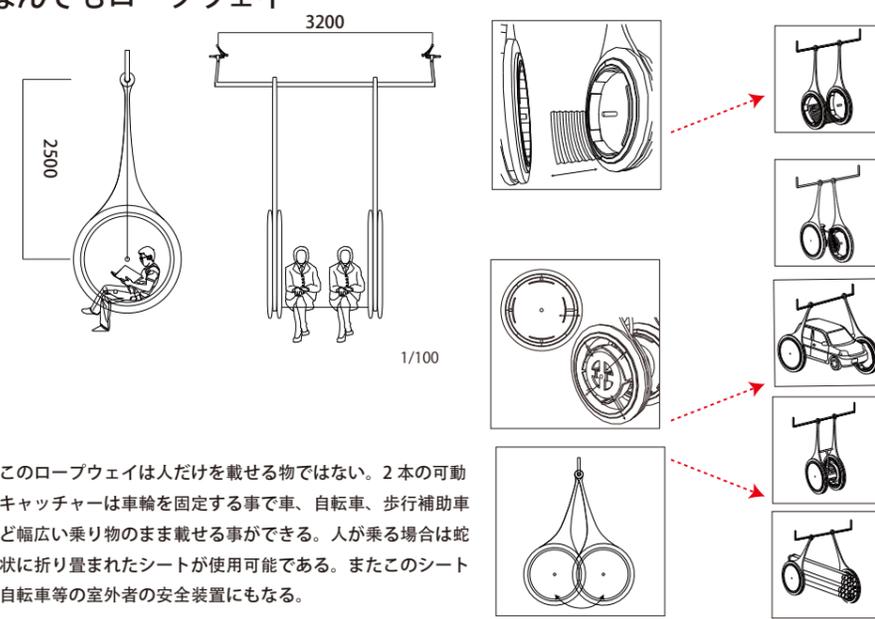


渋谷はいつだって流行の先端をいき、人、モノで溢れている。2027年に向け渋谷は再開発される。高層化、ペDESTリアンデッキ、地下広場、緑化、耳障りの良い言葉は渋谷というまちをどう変えてしまうのか。10年後も楽しい渋谷へ



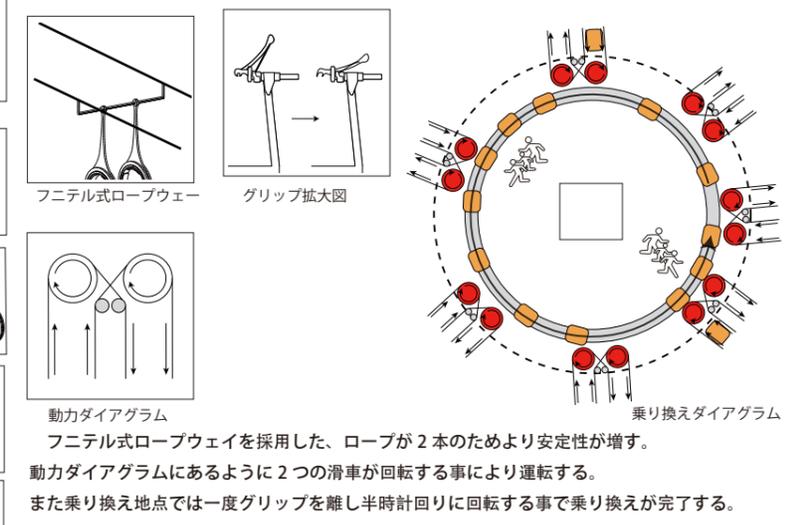
高層化により渋谷は今のようなストリートの賑わいを維持出来るだろうか。私は渋谷の特徴でもある坂道文化をさらに強化する提案を行う。既存のストリートに対して空中に新しいストリートを作る。空中と地面のストリートは相互に関係し合う事で誰も体験した事のないシブヤが生まれる。

なんでもロープウェイ



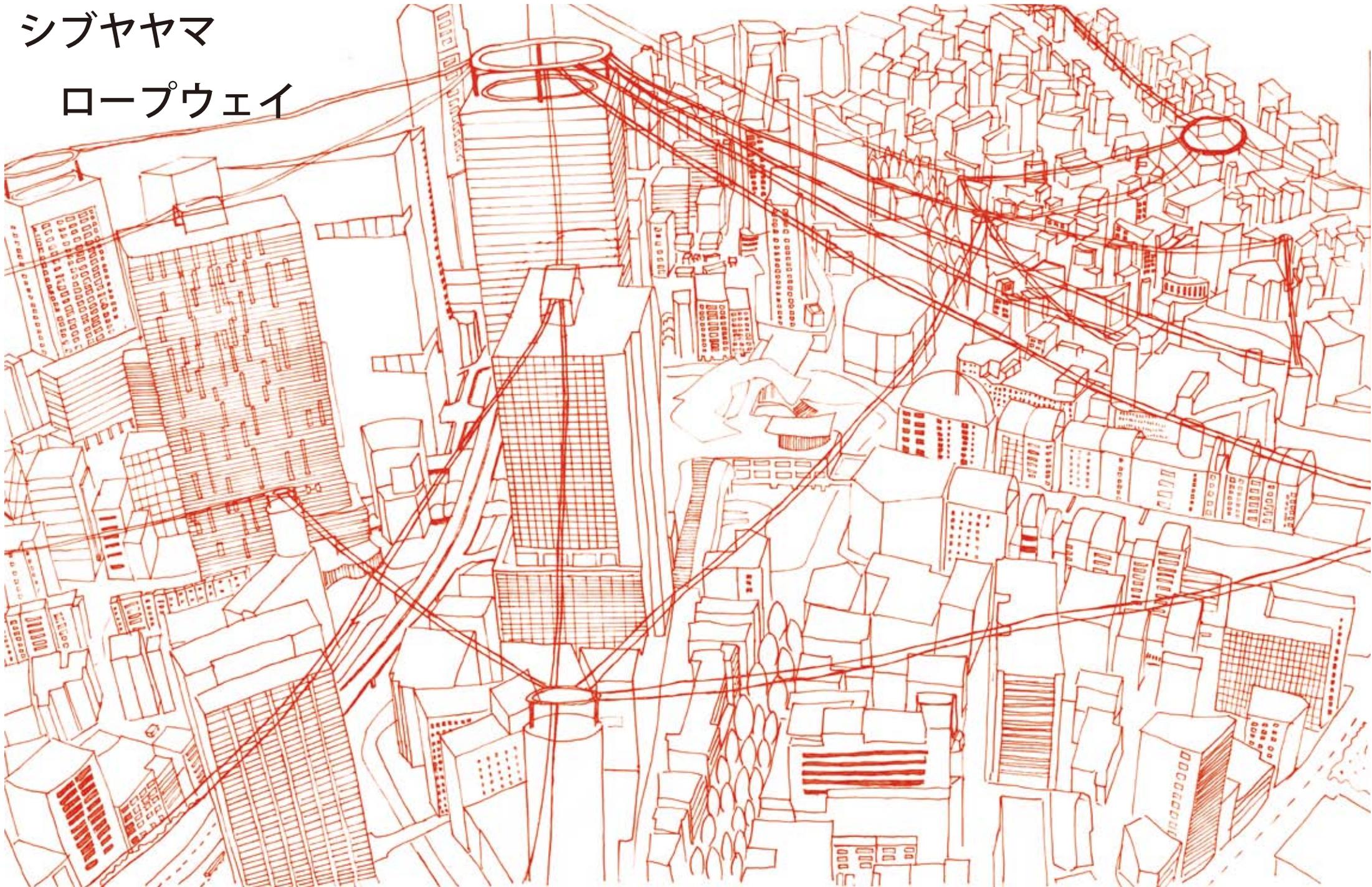
このロープウェイは人だけ載せる物ではない。2本の可動式キャッチャーは車輪を固定する事で車、自転車、歩行補助車など幅広い乗り物のまま載せる事ができる。人が乗る場合は蛇腹状に折り畳まれたシートが使用可能である。またこのシートは自転車等の室外者の安全装置にもなる。

ロープウェイシステム



フニテル式ロープウェイを採用した、ロープが2本のためより安定性が増す。動力ダイアグラムにあるように2つの滑車が回転する事により運転する。また乗り換え地点では一度グリップを離し半時計回りに回転する事で乗り換えが完了する。

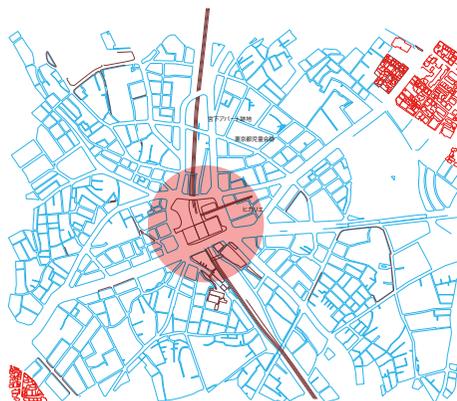
シブヤヤマ ロープウェイ



■10年後も楽しいシブヤへ

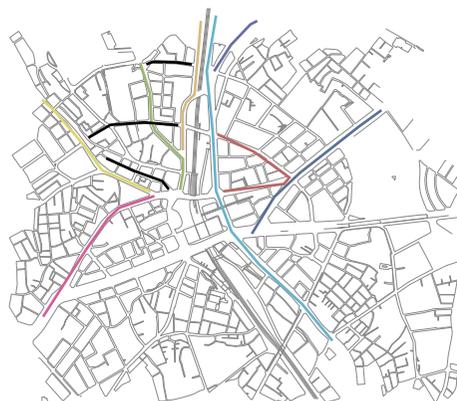
・再開発される渋谷

2027年に向けて渋谷は再開発の渦に巻き込まれる。駅前では超高層ビルが6本建ち、シブヤ周辺でも講会堂の改築、宮下公園の高層ビル化等資本の流れが大きくなっている。



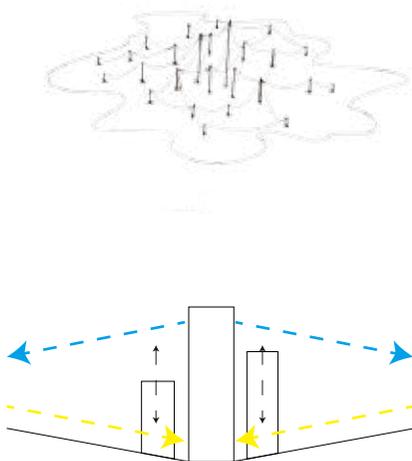
・高層化によるシブヤ的特徴の喪失

渋谷はスリバチ状の地形により、「人」、「モノ」が集まり坂が生まれ沢山の名前のついたストリートが生まれた。高層化により渋谷は今のようなストリートの賑わいを維持出来るだろうか。高層化が進む事により地上との乖離が進み渋谷特有の坂文化が消えてしまわないだろうか。

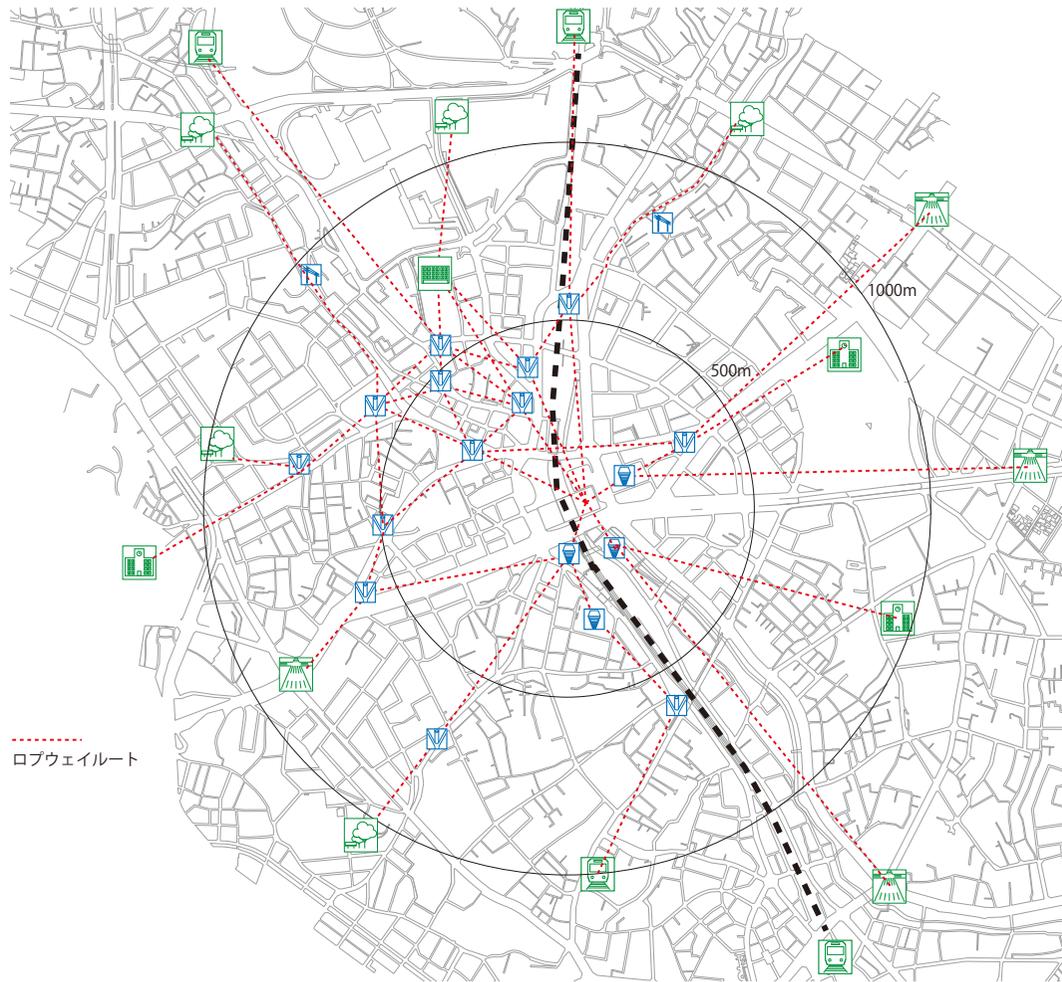


・空中に新しいストリートを作る。

10年後の渋谷に向けて空中に新しいストリートを作る。今後、計画が進む高層ビル群の屋上を基準にしてロープウェイで各点を結んでいく。結ばれた線は2種類あり、1つは現在あるストリートに沿ったもの2つ目は既存のストリートとは関係なく引かれた物である。上下のストリートの関係性により10年後も楽しいシブヤを提案する。



■マチに広がるロープウェイ



--- ロプウェイルート

■ 始点・終点



駅は人が集まり拡散する中心点である。



渋谷に進入する大通りの交差点



大学の通勤、通学へ利用される



公園にとってロープウェイは新しいアトラクション



市役所等への交通、避難所としての役割

公共施設

■ 中継点



Y字路にあるアイコン建築



電柱はロープウェイの中継機の役割を果たす



高層ビルはロープウェイの要所



電柱はロープウェイの中継機の役割を果たす



街灯

■ 使い手



歩行者 至る所から歩行者はやってくる。



自転車 大通りから車はやってくる



四輪車 歩行補助車はこれからどんどん多様になってくる。

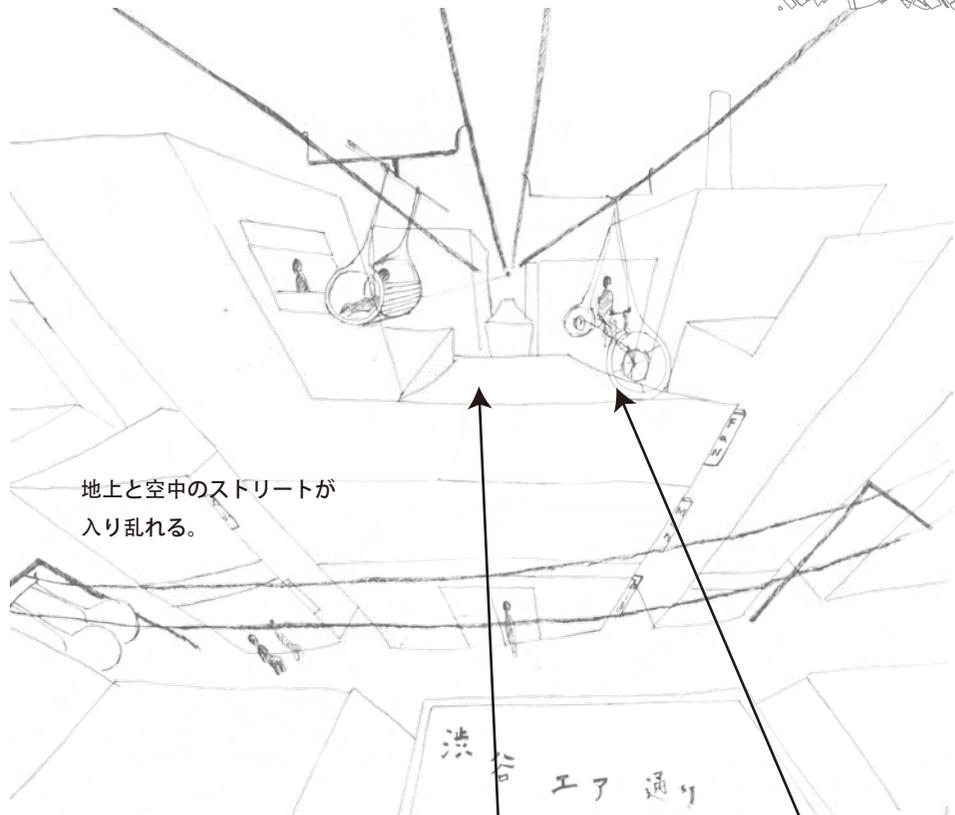
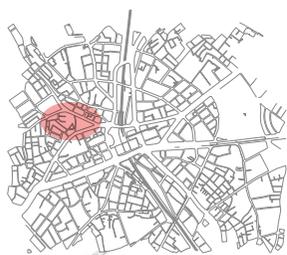


歩行補助車

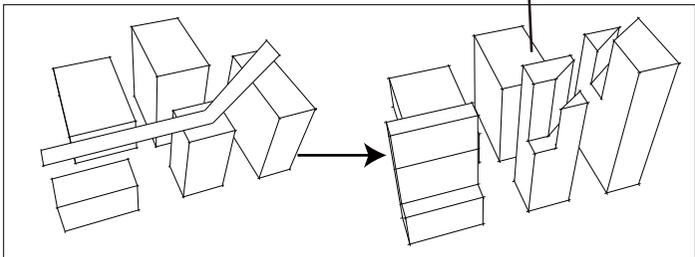


荷物

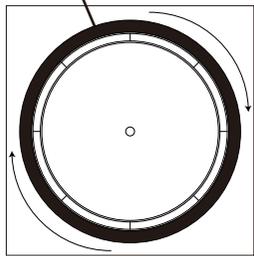
渋谷エア通り - センター街周辺 -



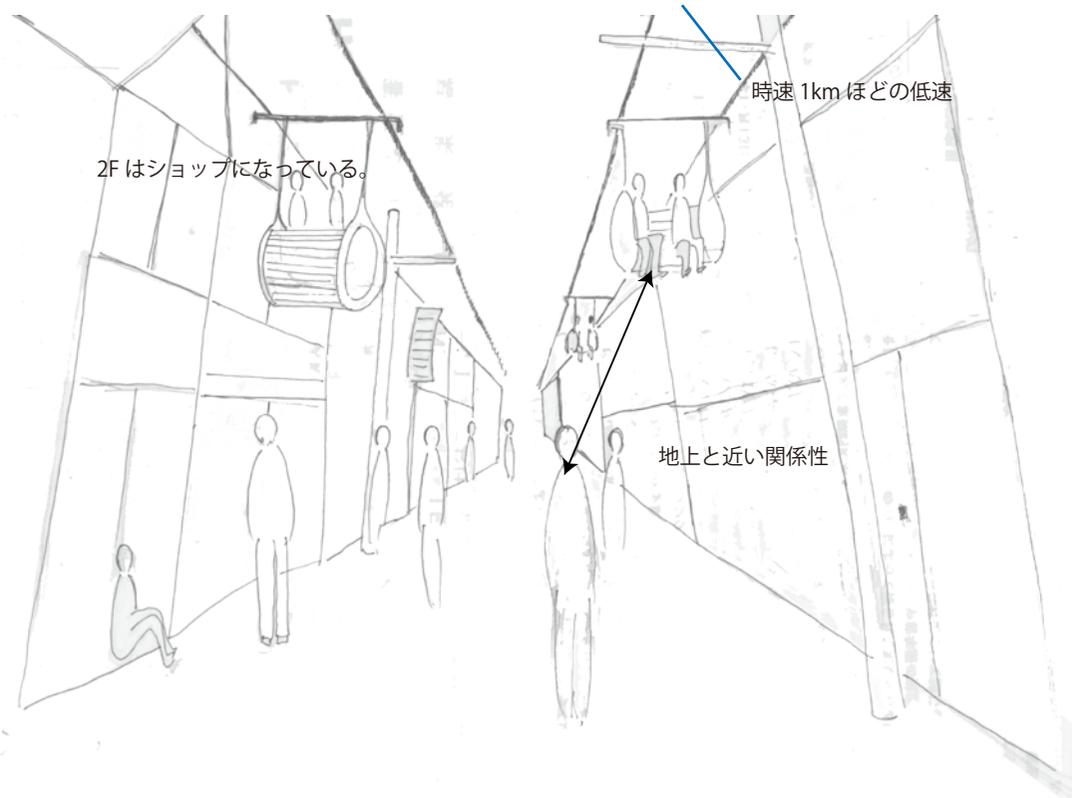
地上と空中のストリートが入り乱れる。



ロープウェーのストリートとの周りを縫うように建物が伸びていく。



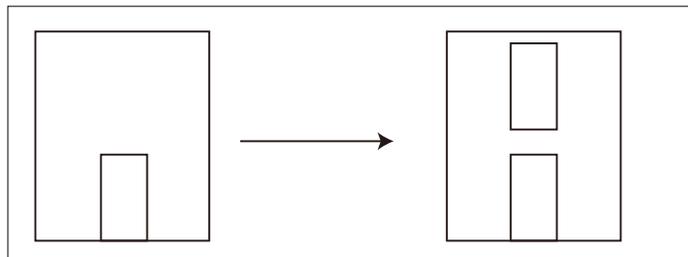
重なるストリート - オーチャード通り、公園通り、
キャットストリート -



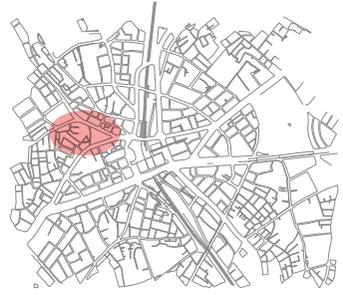
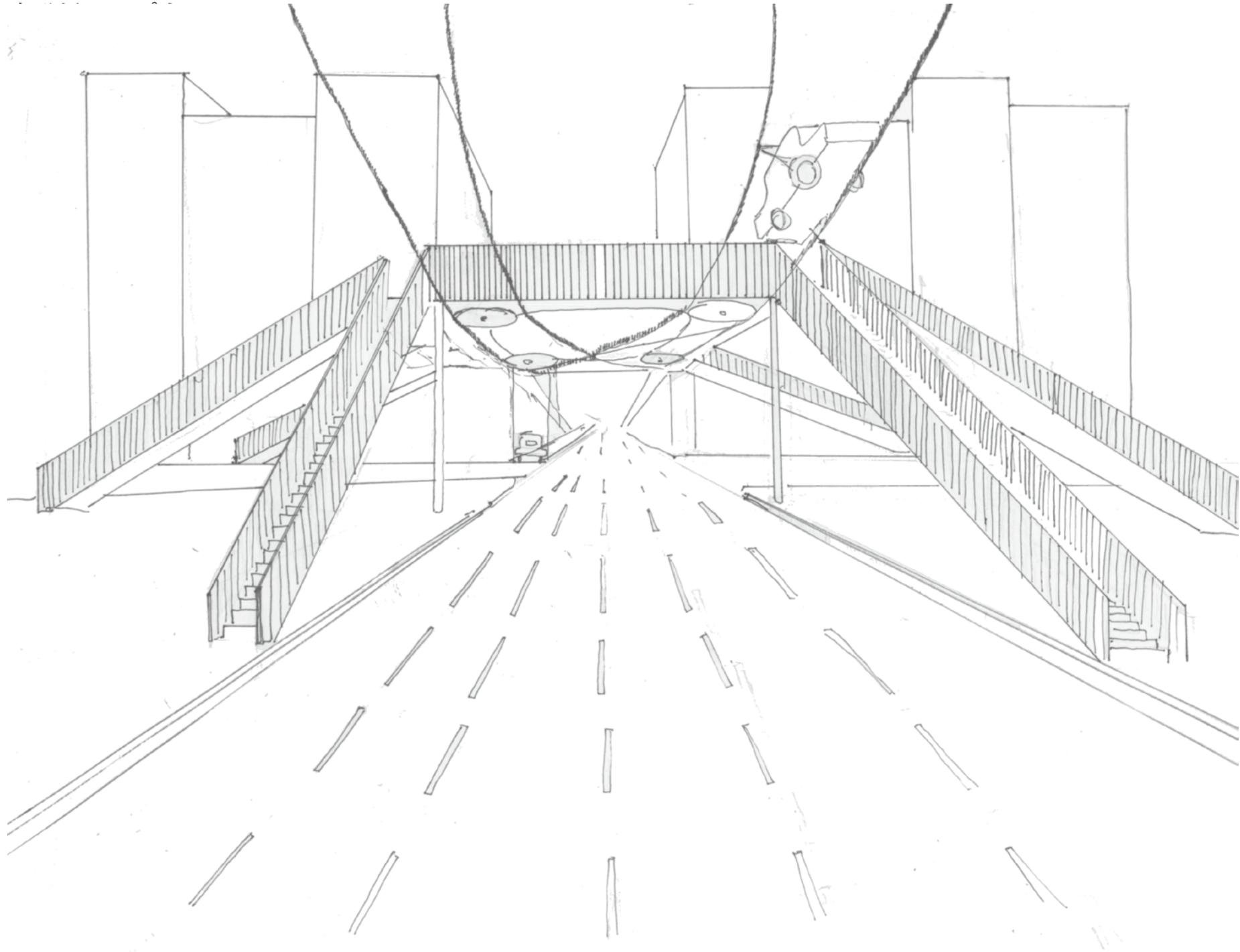
2Fはショップになっている。

時速1kmほどの低速

地上と近い関係性



エントランスは地上、空中の2つになる。



大通りからは歩道橋ロー
プウェイを使う。